POWDER PUFF RACING

BY DAIGEN SEIYAKU

伝説の女性ライダー　堀ひろ子

1970年代後半から1980年代にかけて、ひとりの女性ライダーがいた。彼女の名前は堀ひろ子。日本のバイク史を変えたひとりである。

バイクに跨る女性が珍しかった1975年、世界25か国4万キロを女性ふたり、ナナハンで駆け、大きな話題になった。

1977年まで「男性に限る」とされたロードレースの参加規程が、彼女のレースでの活躍で見直され、女性の参戦を実現し、1978年に日本初の女性だけのレース「パウダーパフ」を日本GP併催という輝かしい場で主催する。

彼女はレース活動に力を注ぐ傍ら、バイク雑誌のジャーナリストとして、またオリジナルバイク用品店の経営、テレビコマーシャルの出演と、その多彩さを如何なく発揮し、彼女に憧れるファンは男性のみならず、女性も非常の多かった。またたくさんのバイク関連著書も残している。

女性ライダーのパイオニアとして

「パウダーパフ・レース」で鈴鹿デビューの後、堀ひろ子とコンビを組んで活動することになったのが腰山（旧姓今里）峰子である。

1980年～81年、堀と腰山は鈴鹿4時間耐久レースに、日本初の女性ペアとしてエントリーし、80年はクラスポールポジションを獲得するも、惜しくも決勝で転倒リタイア、81年に念願の完走を果たした。

1982年には、男性でも完走が難しいとされるサハラ砂漠縦断8000キロを同じくペアで走破した。

ふたりは単に女性レーサーの市民権を獲得しただけではなく、女性ならではのバイク文化の構築にも道筋をつけ、以後の女性ライダーブームはもちろん、1980年代のバイクブームの立役者であることに間違いはない。

1985年に堀ひろ子は36歳という若さで亡くなるのと同じころに、腰山峰子はバイクから遠ざかっていった。

パウダーパフスピリットと Pay it forward

時を経て2004年、バイクにリターンした腰山峰子が戻った場所はサーキットだった。

自らレース参戦する傍ら、同じくレースに出ている女性ライダーのサポートをするようになる。

2012年、腰山峰子がチーム監督となり鈴鹿4時間耐久レースに女性ペアで参戦、堀ひろ子のスピリットを伝えたい思いから、チーム名を「パウダーパフレーシング」とした。残念ながら完走のリザルトを残すことは出来なかったが、雑誌や新聞にとりあげられ「パウダーパフレーシング」は、広く認知されるようになった。

2013年、2014年、そして2015年もインターナショナルライダー高杉奈緒子をはじめとし、パウダーパフレーシングは、果敢にロードレースに挑戦する女性ライダーのサポートを続けている。

腰山峰子は堀ひろ子からもらった沢山の宝物を次の世代に送りたい想いで活動している。

パウダーパフレーシング・ミニ

バイクの楽しさ、レースの面白さをより多くの人に伝えたい、そしてレースに参戦してみたい女性ライダーの応援をしたい。そんな腰山峰子が新たに結成したのが「パウダーパフレーシング・ミニ」である。

ミニバイクとはいえ、男性ライダーに交じって戦うシビアなレースに、女性が真剣に戦い、ひとつでも上を目指し、そしてレースを心底エンジョイする。コースでは真剣勝負、ピットやパドックではライダーやチームスタッフはもちろん、ライバルとさえ常に笑い声が絶えない、そんなチームを目指しています。趣味のレースを楽しむ過程を情報発信することで、多くの人々にバイクとレースの素晴らしさを伝えることが出来ると考えます。

2015年は岡山国際サーキットを舞台に開催されるミニバイク耐久レース、OKADA PANOLIN CUP 6時間耐久レースに、レース経験が豊富な玉田塾メンバーをチームスタッフに迎え、ホンダNSF100 の2台体制で挑みます。

またレース参戦以外でも、イベント参加や合同練習の模様もSNS等を屈指し、女性ならではの目線で発信して参ります。

ライダープロフィール

腰山峰子(総監督・ライダー)
1960年1月7日
兵庫県
http://motomom.jp/
1977年
中山サーキットロードレースデビュー
1979年山陽選手権250ccクラス2位
1980．1981年
鈴鹿4時間耐久レース参戦
2012年
岡山国際サーキットモトレヴォOCクラス予選1位決勝2位

玉田美恵(ライダー)
1979年8月28日
愛媛県
https://www.facebook.com/tamada.mie?fref=ts
2007年 ・DUCATI CAP Entry 17台中 予選6 位 決勝1位
2008年 ・DUCATI CAP MIDLE クラス22台中 決勝14位
2009年 ・DUCATI CAP MIDLE クラス21台中 予選18位 決勝14位
・モトレボ EF クラス8台中 決勝6位(ライダー)

狗巻 範子(ライダー)
1979年8月17日
大阪府
https://www.facebook.com/profile.php?id=100005779060675
CBR1000RR、1098sで、デグナーやAM SPORTS走行会、J-TRIPcup模擬スプリントレース経験
2013年ミニモト4時間耐久レース61位完走(117台中)
2014年ミニモト4時間耐久レース39位完走(116台中)

小松絵美(ライダー)
1985年7月27日
大阪府
http://ameblo.jp/rascal-emi/
2012年 サーキット走行開始
2013年 サンデーヒーローズ・レース形式参戦
レース1 5台中5位　レース2 4台中3位
2015年は南コース開催CBR CUPビギナークラスに参戦予定

最強のチームスタッフ

玉田耕司（監督・メカニック・アドバイザー）
1974年11月12日1
0歳からミニバイクレースを始める　2003年九州ロードレース選手権ST600クラス全戦全勝　2011年から玉田塾「ライディングスクール」を開講　2013年からカワサキKAZEのライディングスクール講師

柴田直也（メカニック・ヘルパー）1985年3月10日
2007～2009岡山地方選手権GP125参戦・ 2010岡山ミニバイクスプリントレースクラス3位

柴田慎也（メカニック・ヘルパー）1988年2月24日
2009～2010岡山ミバイク耐久レース参戦・2013岡山J-GP3クラスミニバイクレース参戦

柴田克也（メカニック・ヘルパー）1989年12月8日
2009岡山ミニバイク耐久レース参戦.2014HSRサーキットミニバイク耐久参戦

直也・慎也・克也
2006NANKAI鈴鹿ミニモトコンソレーション80分耐久　クラス優勝
2013九州オートポリスNANKAI minimax クラス6位
生名サーキット耐久レース クラス優勝
2014岡山ミニバイクレース参戦

相見征一郎（メカニック・ヘルパー）
1966年12月19日
2010岡山国際サーキット
モトレヴォRd3マスターズ
昇格
2012岡山国際サーキット
モトレヴォRd1優勝
Rd3 5位、Rd4 2位
これにより2013シーズン
国際ライセンスに昇格

参戦マシン

PANOLIN
Swiss High-
POWDER PUFF RACING
BY DAIGEN SEIYAKU
61
J-TRIP
PANOLIN
Racing
Swiss High-Quality Oil
参戦マシン
HONDA NSF100

メディア掲載（パウダーパフレーシング＆腰山峰子）

2010年　ahead 9月号　堀ひろ子という友人

2011年 ahead 1月号　私がKTMを選んだ理由　腰山峰子

2011年ahead 6月号　忘れられないこの一台

2011年MOTO NAVI (MOTO BEAUTY) Autumn伝説の女性ライダー

2012年ahead 7月号　堀ひろ子からの贈り物

2013年 MOTO NAVI 4月号　Motorcycle Woman　腰山峰子

2013年10月号レディスバイク　ドゥカティプレミアム試乗会

2013年ahead 10月号　女性がモータースポーツをするということ

2014年ahead　10月号　なぜ私はSUZUKIなのか

2014年ahead 12月号　女性がモータースポーツをするということ　Vol.2

2015年参戦計画

3月22日(日） ミニバイク60分耐久レース　岡山国際サーキット
6月14日(日) パノリンカップ第2戦 琵琶湖スポーツランド
7月12日(日） ミニバイク90分耐久レース　岡山国際サーキット
9月6日(日) パノリンカップ第3戦 堺カートランド
10月18日(日) パノリンカップ最終戦 名阪スポーツランドABコース
11月22日（日）ミニバイク120分耐久レース　岡山国際サーキット

協賛企業様

OKADA
岡田商事株式会社

PANOLIN®
Swiss Oil Technology

G.M.D.

ZOOO®

T-REV®
Teramoto Racing Eco Valve
one way

KDC
SERVICE

POWDER PUFF RACING
BY DAIGEN SEIYAKU

〒660-0085

兵庫県尼崎市元浜町5-79

大源製薬株式会社内
パウダーパフレーシング

腰山峰子

neko@e-daigen.co.jp

090-1153-3302